

SAWAYAKA さわやか



収穫した「こがねもち」から新年の餅づくりに大忙しです。仕込んで、ついて、伸ばして、乾かして、作業する手にも気持ちがこもります。



「巳年に気持ちをこめて」

撮影協力：豊浦地区 蛇塚集落の坂井ファームフーズさん（11月下旬撮影）

特集

地域農業を未来へ引き継ぐ
新規就農者紹介

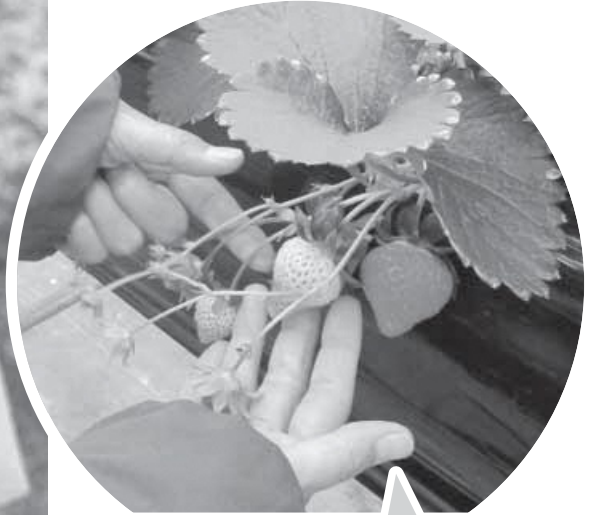
- p 2～3
- 農業委員会視察研修を終えて..... p 4
- 農業委員会の活動報告..... p 5
- 令和6年中に公告した
農地賃借料情報をお知らせします..... p 6
- 農地利用最適化推進委員を募集します..... p 7
- おれらの組織紹介（豊浦地区）・編集後記・インフォメーション..... p 8

2025.

1

月号

継ぐ 農者紹介



令和6年度施設園芸立毛品評会表彰において、イチゴ部門の「新潟県農業会議会長賞」を受賞されました。おめでとうございます。

「家族と一緒に楽しく過ごせる
ことがとても幸せ」

紫雲寺地区 神田 春菜さん (36歳)

私は、令和4年度から義父が長年大切にしてきた圃場を受け継ぎ、新規就農しました。現在は、越後姫約13a、百合約9aを栽培しています。

子どもがまだ小さく、以前の職種では仕事と育児の両立が難しかったため、農業への転職を決めました。受け継ぐことを決めたものの、私ひとりでの管理ではとても難しく、家族を始め、周りの方々の協力で栽培を続けることができています。

栽培をしていく中で失敗することも多く、天気にも左右される大変な作業で、日々勉強。その中で越後姫が美味しく実ってくれ、百合が綺麗に育ってくれた時の喜びはひとしおです。

また、小さかった子どもたちも大きくなってきて、お手伝いをしてくれることもあり、とても頼もしく思っている今日この頃。産まれたばかりの三女を毎日のように畑へ連れ回す慌ただしい日々を送っていますが、大切な家族と一緒に楽しく過ごせることがとても幸せだと実感しています。

今後も、日々勉強と努力を重ね、美味しい越後姫と質の良い百合を栽培していくことで、支えてくれている家族や周りの方々に恩返しをしていけたらと思っています。

(担当 農業委員 若杉 智代子)

地域農業を未来へ引き 特集 新規就



ハウスで花き栽培に取り組んでいます。試行錯誤しつつ、精進を続ける毎日を送っています。(写真は出荷前のヒマワリです。)

「夫婦で就農、

充実した日々を目指して」

新発田地区 渡久地 満さん (40歳)

直美さん (39歳)

私達は令和5年度に新規就農し、現在10haの水稲と切り花のヒマワリを生産しています。夫婦共に就農前は全く違う仕事をしていたため未経験ではありましたが、父親をはじめ、JA北新潟、市役所などの支援を得て就農することができました。

ヒマワリは、父親が元々チューリップを生産していることもあり、水稲の作業と時期が重ならない花きの中から品目を選び、育苗後にハウスへ作付けしました。経費の負担が少なく、管理も比較的容易で導入しやすかったのですが、栽培の難しさを実感しました。

何をするにも初めてのことはばかりで試行錯誤することは多くありましたが、指導してくださる方々がいること、夫婦で協力し支え合うことができることに有難みを感じながら、日々精進し、色々な経験を今後の経営の力にしていきたいと考えています。その中で、地域から信頼される担い手になれるよう頑張ろうと思います。

(担当) 農地利用最適化推進委員 横野 寛

農業委員会視察研修を終えて

令和6年11月5日、6日
富山県射水市・砺波市、石川県白山市

今年一月一日の能登半島地震の復興応援の意も込め、富山県・石川県への視察研修に行ってきました。

初日は富山県射水市の(株)葉っぱーFarmにて小松菜の周年栽培、砺波市のなみ野農業協同組合にて玉ねぎの大規模栽培への取り組み、二日目は石川県白山市の里山総合会社「山立会」にてなめこ栽培工場、羊放牧地見学、獣害対策と獣肉の活用について学んできました。

三か所とも興味深い内容でしたが、三点に絞って紹介します。

一点目は(株)葉っぱーFarmの小松菜の規格外品の有効活用化。四年前に加工場を作り、そこで冷凍小松菜、小松菜ペーストとパウダーを生産しはじめました。ペーストは離乳食に最適とのこと。パウダーはパンや菓子に練り込むことができ小松菜の風味を活かすことができます。生の小松菜をただ出荷するだけでなく、規格外品を加工することによってさらなる商品を作り上げて商機を拡大しようとする姿勢に学ぶべき点がたくさんありました。

二点目は同じく(株)葉っぱーFarmの代表者のダルマ・ラマさんの人柄と経営姿勢です。ネパールから日本に来られ、小松菜事業を引き継ぎました。日本では生産量がなかなか増やせないエゴマを母国ネパールで栽培し、日本へ輸出を行う会社も経営しています。また、事務所の二階はカフェになっており、地元の人や消費者を招き、意見を聞いて経営に活かしているという姿勢に感銘を受けました。カフェ内では仏画師と活動していた時期の仏画を見ることが出来ます。

三点目に山立会の獣害対策。白山市木滑地区ではクマとイノシシが出没し、農作物被害が出ています。県では狩猟者育成に力を入れていて、山立会では依頼を受けての狩猟者育成セミナーを年四回開催しています。自動撮影カメラを設置し生息地マップの作成、囲い罠による複数頭の猿の捕獲などの紹介もありました。

松浦地区ではクマの目撃情報が相次ぎ、当川東地区では鳥獣害対策協議会を立ち上げ、電気柵の設置、猟友会の活動を行っているだけに山立会の活動に知見を深めることができました。

農政推進部会 農地利用最適化推進委員 若月 洋明



(株)葉っぱーFarmの代表者のダルマ・ラマさんから小松菜栽培について説明をしていただきましたが、その人柄と経営姿勢に引き付けられました。



「(株)葉っぱーFarm」にて、小松菜の栽培施設の見学を行いました。ハウス内にびっしりと植えられています。



山立会では「なめこ栽培」にも熱意をもって取り組んでおり、稲作中心から園芸作物への転換を考えた場合、同じ豪雪地帯でもあることから、興味深いものがありました。



山立会では狩猟者育成セミナーを開催しています。生息地マップの作成事例、囲い罠の使用例などを紹介していただきました。

農業委員会の活動報告

農業委員・農地利用最適化推進委員の活動にとって、各種の大会・研修への参加も大切な業務の一環です。

11月21日
創立70周年記念

「新潟県農業委員会大会」

会場 新潟テルサ

新潟県内の各農業委員会が一堂に会し、今年
は約700人の出席となり、当市からは会長を
含め20人が参加しました。

大会は、永年勤続等の委員の表彰式に始まり、
要請決議等は3議案が提案・可決、全国農業会
議所の稲垣専務理事から情勢報告、フリーアナ
ウンサーの伊勢みずほさんからの記念講演と、
充実した内容が続きます。

また、今回は新潟田市の農業委員である若杉
委員が司会として進行役を務めるなど、当委員
会にとっても話題の多い大会となりました。



今年の大会では当市の若杉委員へ司
会進行役の依頼があり、大勢の関係
者が参集する中で、役割をこなして
いきました。(ステージ左側の司会席
から進行を担当)

11月28日
創立70周年記念

「全国農業委員会会長代表者集会」

会場 東京都文京区 文京シビックホール

全国の農業委員会会長が一堂に会し、今年
は関係者も含め約1,800人の出席となり、当市からは
宮村会長が参加しました。

今大会は全国農業会議所の設立70周年という節目
の年でもあり、関係農業団体から祝意の言葉が多く
寄せられるなか、要請決議等は3案件を採択、続く
活動事例報告では「地域計画の策定と今後の取組み
について」と題して山形県寒河江市農業委員会から
発表があるなど、全国規模らしい充実した内容の集
会となりました。



創立70周年記念の集会であり、多くの
農業関係団体の出席があるなか、活動事
例報告の山形県寒河江市は同じ日本海側
の隣県でもあり、親近感を感じつつ聞き
入りました。

12月3～4日

「新潟県女性農業委員等研修会」

会場 新潟東映ホテル

新潟田市からは、5人の農業委員・農地利用
最適化推進委員が参加しました。

今年の開催内容は「にいがた女性農業委員の
会」の定例総会、全国農業会議所の相談員の方
から相続対策等の講演、タブレット端末の活用
に関する事例発表、農業者年金の研修などを行
うなかで、県下から集まった総勢約53人のみな
さんが交流を深め、内容の濃い2日間となりま
した。



ワークショップは「地域計画の実行後」をテ
マとし、グループに分かれて検討後、班ごと
に発表を行います。緊張しつつも楽しみなが
ら、意見をまとめていきます。

令和6年中に公告した新発田市の 農地賃借料情報をお知らせします。

※この情報は、令和6年中に公告した農地の賃貸借契約のデータを単純集計したものです。

(単位：10a当たり)

区分 地区	1 データ数 (7,584) 【※ 最多契約額】 20,000円	2 データ数 (1,908) 【※ 最多契約額】 15,000円	3 データ数 (0) 【※ 最多契約額】 — 円 ※令和6年分はデータなし	畑 データ数 (293) 【※ 最多契約額】 5,500円
【賃借料】	【最高契約額】 28,000円 【平均契約額】 18,489円 【最低契約額】 5,000円	【最高契約額】 25,000円 【平均契約額】 15,119円 【最低契約額】 5,000円	【最高契約額】 — 円 【平均契約額】 — 円 【最低契約額】 — 円	【最高契約額】 20,000円 【平均契約額】 6,405円 【最低契約額】 3,000円
新発田	○圃場整備済地区	○圃場整備未済地区		※畑の金額については、 新発田市全域のデータ になっております。
五十公野	○圃場整備済地区	○圃場整備未済地区		
松浦	○圃場整備済地区	○圃場整備未済地区		
米倉	○圃場整備済地区	○圃場整備未済地区		
赤谷			【参考】全区域 令和5年分 データ数(26) 【最多契約額】 9,000円 【最高契約額】 10,638円 【平均契約額】 9,223円 【最低契約額】 9,000円	
川東	○圃場整備済地区	○圃場整備未済地区		
菅谷	○圃場整備済地区	○圃場整備未済地区		
加治	○圃場整備済地区	○圃場整備未済地区		
佐々木	○圃場整備済地区	○圃場整備未済地区		
豊浦	○圃場整備済地区	○区画整備済地区で10 ～20a区画全域及び福 島潟周辺並びに山沿地 区で圃場整備未済地区		
紫雲寺	○圃場整備済地区	○圃場整備未済地区		
加治川	○圃場整備済地区	○圃場整備未済地区及び山沿 地区で圃場整備未済地区		

- ※ 農地法の改正により標準小作料が廃止されたことに伴い、新発田市では上記のとおり賃借料の目安となる情報提供を行います。
- ※ 農地の賃借料の集計は字単位で行われているため、圃場整備が字の全部で完了していない場合も区分1の圃場整備済地区に集計しています。
- ※ データ集計の際、0円（使用貸借）契約は除外しています。

農地利用最適化推進委員を募集します（欠員募集）

■詳しい内容についてのお問い合わせ先は、

新発田市農業委員会事務局（加治川庁舎内）

〒959-2415 新発田市住田510番地（TEL：0254-33-3119）

1 業務概要及び募集人員等

このたび、農地利用最適化推進委員に1名の欠員ができましたので、次の内容により募集します。

今後の農地等の利用の最適化を推進するため、誠意をもって活動できる方のご推薦、ご応募をお願いいたします。

●業務概要

農地法及び農業委員会等に関する法律等で規定される業務（農地集積・集約化の推進、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など）を担当する区域で行うほか、農地の権利設定や有効利用、農業経営などに関する農業者等からの相談に応じます。

●募集人員 1人

●任期 農業委員会から委嘱された日（令和7年4月1日以降を予定）から農業委員の任期まで

●報酬 月額13,200円に、市長が別に定める額を加算した額

●身分 特別職の非常勤職員

●区域

農地利用最適化推進委員が担当する区域を次のとおり定め、その区域を単位として、農地利用最適化推進委員の推薦及び募集をします。

担当地区と募集人員

地区名	佐々木
地区の区域	佐々木 上中沢 曾根 日渡
人数	1

2 被推薦・応募資格

地域からの信頼並びに農地等の利用の最適化の推進に熱意及び識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる者で、就任予定日において、次のいずれにも該当しない者

- 破産手続き開始の決定を受けて復権を得ない者
- 禁錮以上の刑に処され、その執行を終るまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 兼職が禁止されている行政委員会委員

3 推薦・応募受付期間及び手続き

募集要項及び推薦書・応募書は、新発田市ホームページからダウンロードできるほか、次の担当窓口及び豊浦・紫雲寺の支所に備えてあります。

●受付期間 令和7年1月30日（木）から令和7年2月28日（金）まで

●提出書類 推薦書又は応募書

推薦書・応募書は、令和7年2月28日（金）までに郵送、ファックス、電子メール又は直接持参で、次の担当窓口へ提出してください（期限内必着。直接持参する場合は午後5時15分までにお持ちください）。

新発田市農業委員会事務局
（加治川庁舎内）

〒959-2415
新発田市住田510番地
FAX: 0254-33-3630
E-mail: nougyou@city.
shibata.lg.jp

4 審査方法

審査委員会による審査（必要に応じて面接等を行う場合があります。）

5 審査の結果通知

令和7年3月末までに応募又は推薦を受けた本人に通知します。

6 その他

募集期間中と募集期間終了後の2回、市のホームページ等で左記事項を公開します。

- 推薦した個人の氏名、職業、年齢及び性別
- 推薦した法人・団体などの名称、目的、代表者又は管理人の氏名、構成員の数、構成員たる資格及びその他の推薦した者の性格を明らかにする事項
- 推薦を受けた者又は応募した者の氏名、職業、年齢、性別、経歴及び農業経営の状況
- 推薦又は応募の理由
- 地区の推薦を受けた者又は応募した者の人数並びにそのうちの青年（49歳以下の者）及び女性の人数

まわりの組織紹介

磯部代表を中心に社員の皆さん、社屋の前で集合写真。



今回は豊浦地区天王集落の(株)げんぞうさんの代表取締役社長 磯部 勇さんから語っていただきました。(担当：横野 寛 委員)

「園芸栽培の魅力と面白さ」

(株)げんぞう

(株)げんぞうで代表を務めています磯部です。就任して3年目となりました。

私たちは役員2名、社員3名、季節アルバイト15名で水稲30ha、枝豆6ha、キャベツ5ha、その他果樹野菜を少々と、一年を通して農産物を生産・販売をしている農業法人です。販売を直接行うことで、お客様との距離が近く『おもしろかったよ』という言葉が、まるで魔法のようにやる気を引き出してくれるという実感があります。

今年には社員の発案からサツマイモの試験栽培を始めました。が、どのようにすると美味しく、日々のみなさんで話し合っていること、調べることに強



「えちご茶豆」は食味優先のため午後から収穫し、冷やしてから出荷します。面白さを感ずいています。また、今年度も弊社で栽培している茶豆をブランド化し

『えちご茶豆』としてデビューさせたところ、需要に供給が追いつかない状態となりました。全国枝豆品評会では銅賞の評価を受けて、来年は更なる高みを目指していきたいと思えます。稲刈りが終わり、次はキャベツの収穫が始まりますが、安心・安全を基本にして高品質な農産物を手に取ってもらえるよう、今後も栽培を続けて皆様から愛される会社を作っていきます。いと考えていきます。



稲刈りを終えて、次はキャベツの収穫に取り組んでいます。

農業委員会 広報

さわやか

1月号 No.54

さわやかは私たちが編集しました。

編集委員長 編集委員

高木 杉林 阿部 布施

辰夫 武 渡邊 國範

村田 研治 宮村 直樹

若杉智代子 正義 敏昭

知合 淳 恒夫

横野 寛

発行

新発田市農業委員会

〒950-2415 新発田市住田510番地 FAX 0254-33-3930

印刷

島津印刷株式会社

0254-33-3119

0254-33-3930

編・集・後・記

近年、自然災害が多発しており、線状降水帯による大雨や地震がどこで起きるかわからない状態になっています。

私たちの地区では、令和5年の猛暑による米の格落ちで収入減少。そして、昨年は前年を挽回しようと、春からいろいろなことを試しながら順調に成長していた稲も8月の激しい雨による倒伏。さらに、9月の長雨による収穫の遅れなどにより、またしても格落ちになり収量も少なくなりました。米価が上がっていたことで助かりましたが、このような自然災害が毎年のように起きるのはと不安になります。

また10月の衆議院議員選挙では、与党が過半数割れ、11月のアメリカの大統領選挙では共和党が勝ち、今後の農業情勢も不安定になるのではないかと心配になりますが、天候も米価も安定した年になることを願っています。

(杉林 武 委員)

インフォメーション

基盤法相対(売買・貸借)は令和6年度で廃止となります。

制度の廃止に伴い、申請の受付は2月10日(月)までとなります。

令和7年度からの農地(田)の権利移転の手続きについて

- ①農地中間管理機構(貸借)
 - ・4月25日(金)まで受付
 - ・6月26日(木)から受付再開
- ②農地中間管理機構(売買)
 - ・4月1日(火)から受付開始
 - ※通年受付予定
- ③農地法3条許可(売買・貸借)
 - ・4月25日(金)まで受付
 - ・8月12日(火)から受付再開
 - ※畑は通年で受付しています。